

取材先	川棚温泉観光ボランティアガイドの会		
企画名	下関城郭サミット夏の陣 2019 in 川棚温泉		
備考			
取材日	2019年8月18日(日)天候[晴れ] [13:30~17:00]	取材地	川棚の杜 コルトホール

レ  
ポ  
ー  
ト

今回の講演会は、公益財団法人山口きらめき財団の「きらめき活動助成事業 団体協働活動助成金」を活用して4団体協働で行われました。

第一部は、三浦正幸氏（広島大学名誉教授）の「城郭巡り事始め —中世山城から近世城郭—」について基調講演がありました。代表的な山城や特徴のある造りの山城、山口県の山城の紹介などがありました。山城は地方によって違い、山口県の山城は堅堀があるのが特徴で、ランクを付けると上の方が多く、比較的好い山城が多いそうです。日本には山城が約5万城あり、99%が中世山城だそうです。ちなみに城造りが一番うまいのは武田信玄だそうです。

第二部では、中原周一氏（下関市教育委員会）を座長にシンポジウムが行われました。パネリストは、三浦正幸氏を中心に原田進造氏（勝山三山を守る会）、柴田俊彦氏（檜原ゆうあい会）、八木浩氏（ふるさと再発見作業部会）、正宗利昭氏（川棚温泉観光ボランティアガイドの会）がそれぞれの地域にある山城の紹介や関わりなどを話しました。

講演会には200名が参加しており、山城に興味のある方が多いことが伺えました。来年の大河ドラマ「麒麟がくる」では沢山の山城がでるそうです。楽しみです。

次回は12月から4回、「下関城郭サミット 冬の陣」として中原周一氏と山城を巡る企画が行われます。興味のある方はこちらにも是非ご参加ください。

